



建物の「いのち」をつくる。 総合設備のダイダン



東証プライム 1980

日経突出し



東京ドーム看板



TV CM



東海道新幹線車内



空気

温度・湿度・風量を最適に保ち上質な空気のクオリティを創出する

- ビル空調設備
- 産業空調設備



水

高品質な水を供給しながらも、給排水や水のリサイクルも行う

- 給排水設備
- ユーティリティー設備



光

屋内外を美しく彩る光から、情報設備まで。最新の管理・制御技術で建物に命を吹き込む

- 情報通信設備
- 電気設備



大規模ビル、工場、病院、商業施設など、大型施設の
空調・給排水・電気の**総合設備**を設計・施工

1903年大阪で創業

住友総本店



大手空調設備会社で
一番の歴史

最高裁判所庁舎



1900

1910

1920

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990



大阪市役所



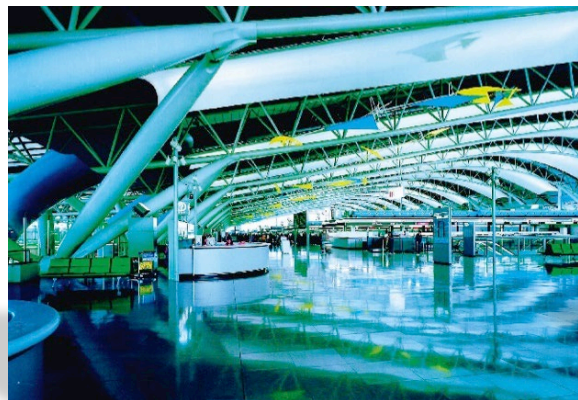
日本武道館

社名変更

大阪電気暖房株式会社

ダイダン株式会社

関西国際空港旅客ターミナルビル



羽田空港 第二旅客ターミナル



netXDC データセンター



1990

2000

2010

2020



長野オリンピック記念アリーナ

JPタワー



富山村田製作所



トヨタバッテリー株式会社
新居第二工場



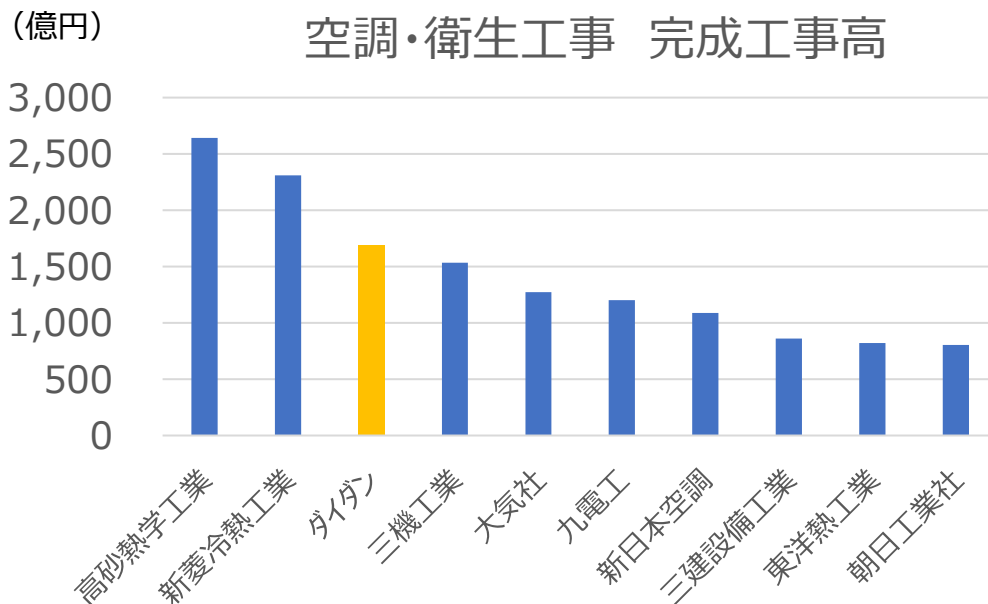
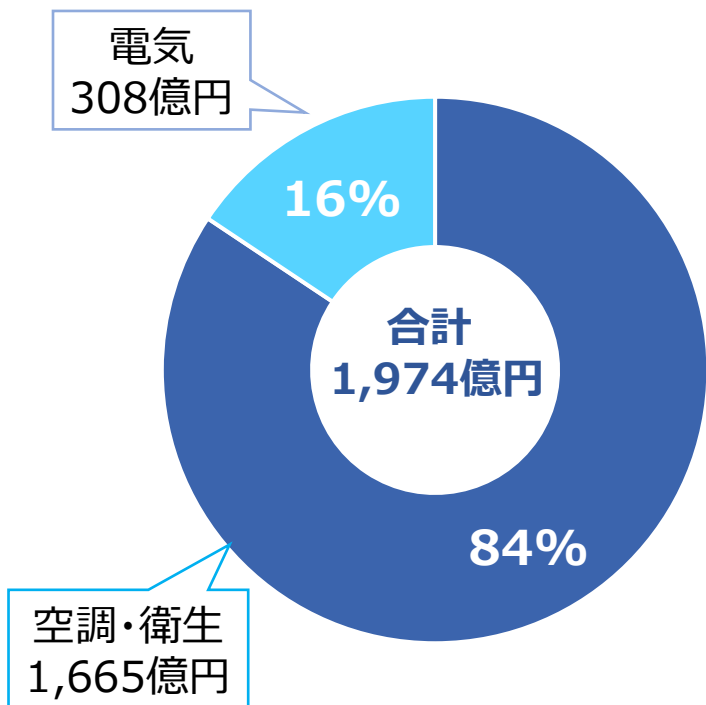
東急プラザ原宿
「ハラカド」



リゾートワールドセントーサ
＜シンガポール＞

撮影：(株) エスエス 中島真吾

売上高の比率（2024年3月期）

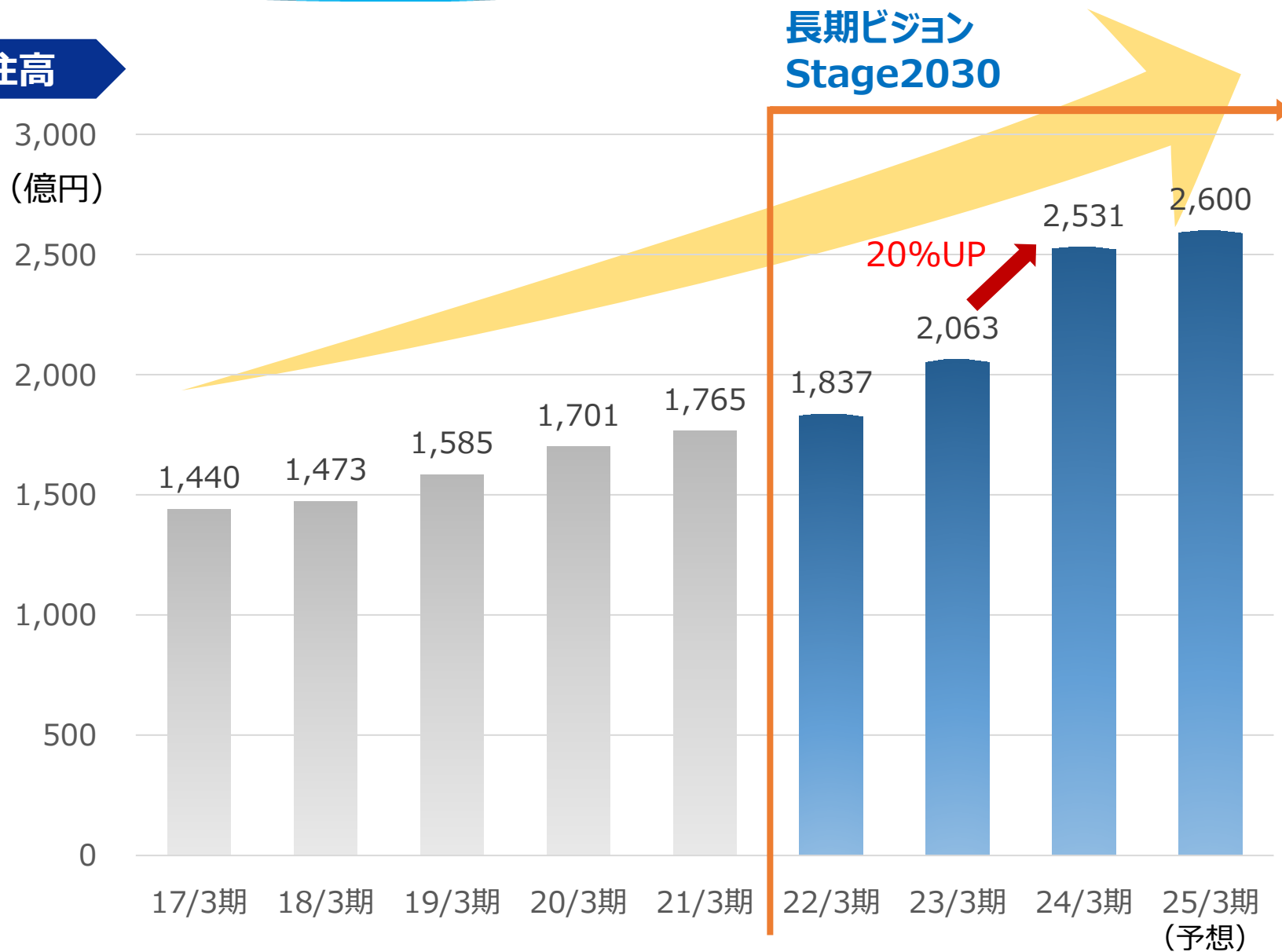


出所：日刊建設通信新聞社「設備工事業完工高ランキング」2024年3月期
より当社作成

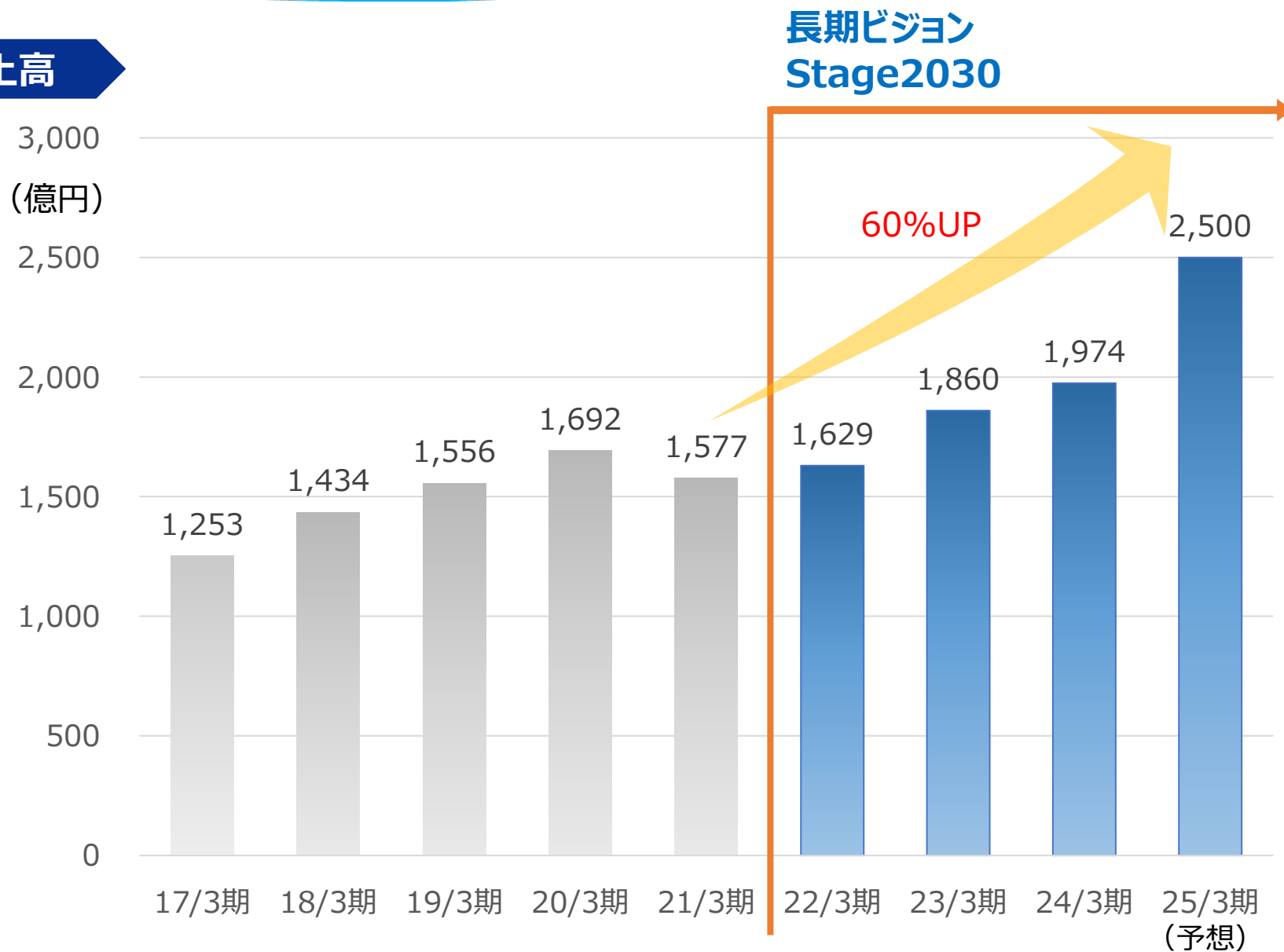
- 空調・衛生工事部門だけでなく電気工事部門を有する建築設備総合エンジニアリング会社
 - ✓ お客様にワンストップでのサービスが可能
- 空調・水道衛生工事は1,665億円となり、業界3位の規模



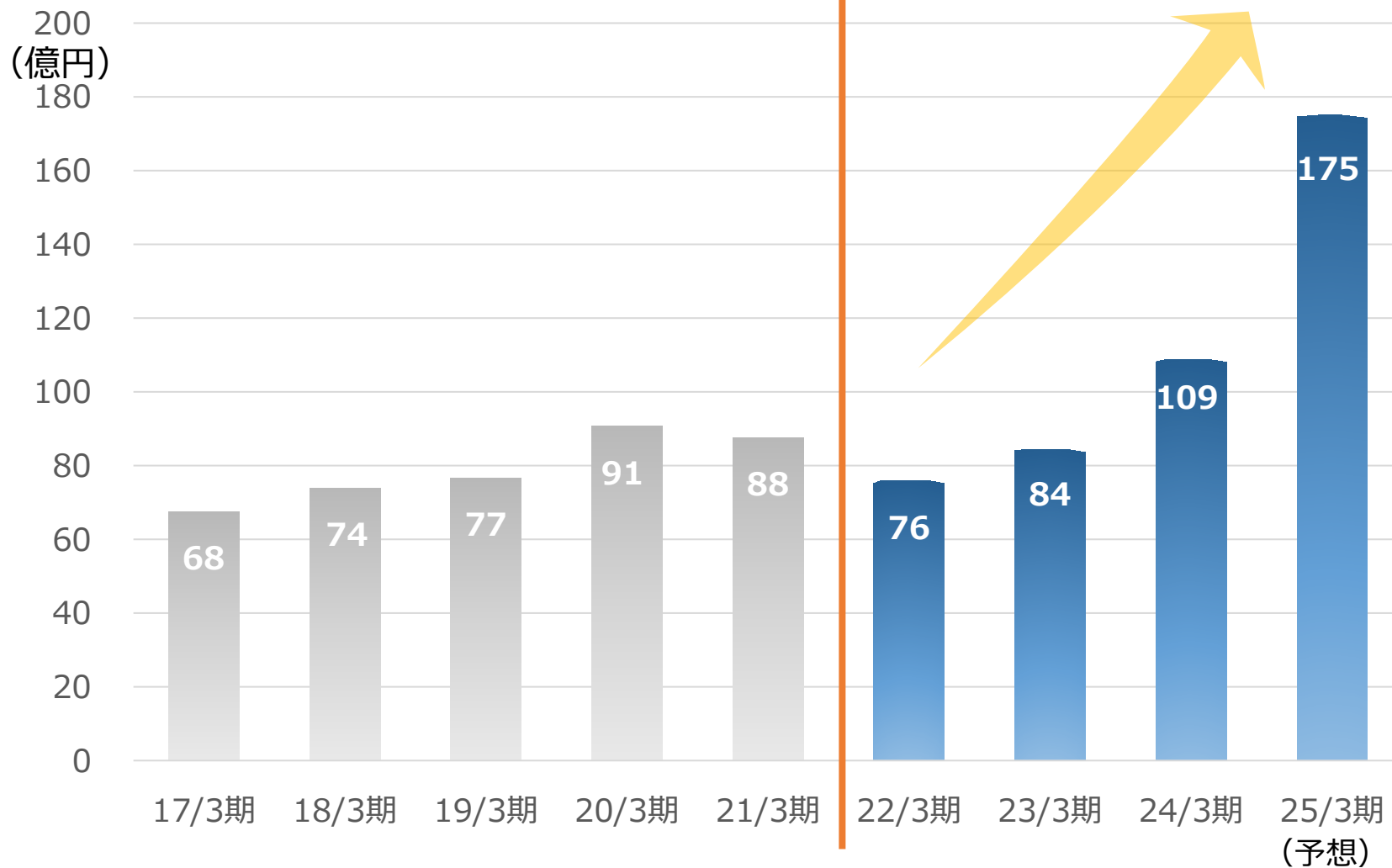
受注高



売上高



営業利益

長期ビジョン
Stage2030

半導体再興へ5兆円計画 ソニーや三菱電機など8社

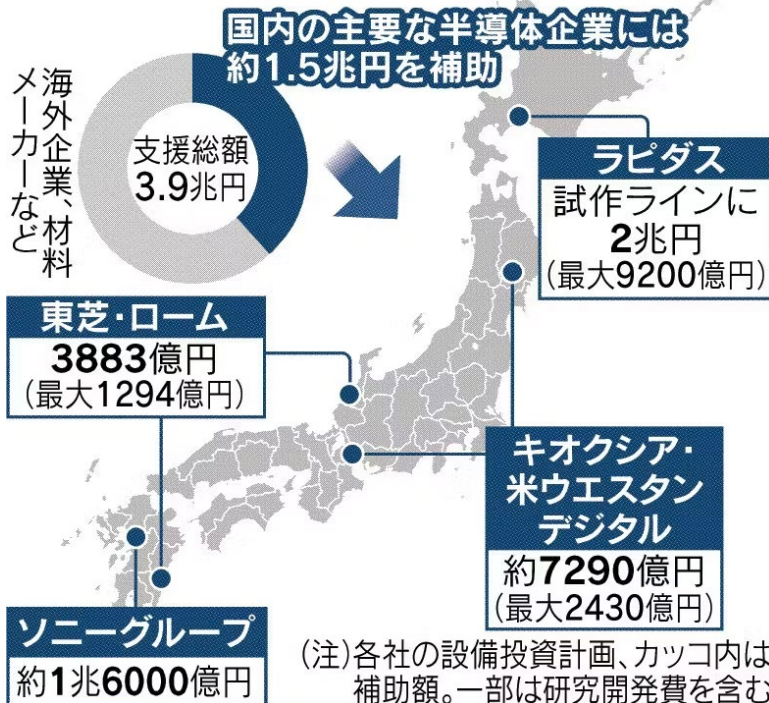
AI・脱炭素にらむ 国内設備投資けん引

2024年7月9日 <日本経済新聞>

半導体、政府資産で支援 ラピダスなど 保有株、国債裏付けに

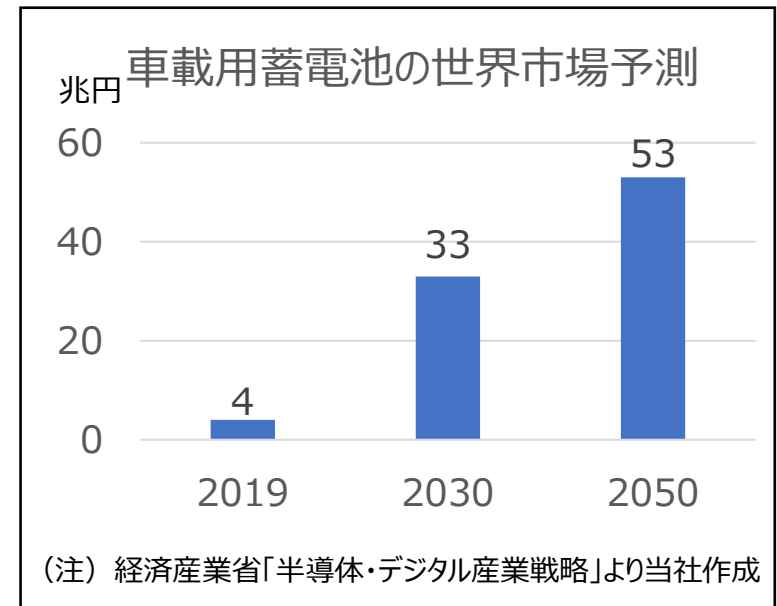
2024年11月2日 <日本経済新聞>

政府は半導体供給網づくりに3.9兆円を支援



蓄電池、国内の製造能力1.5倍に トヨタなど、1兆円投資

2024年9月6 <日本経済新聞>



三井物産、データ拠点拡大
AI需要にらみ5000億円投資 資金調達・顧客基盤強み

2024年7月15日 <日本経済新聞>

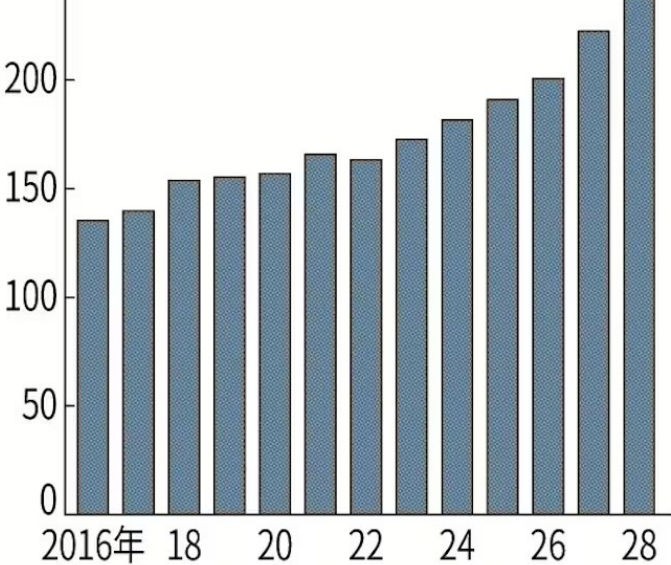
関西でデータセンター整備加速 香港系
ESRも進出

2024年8月28日 <日本経済新聞>

データセンターの日本市場

4兆円

250 億ドル



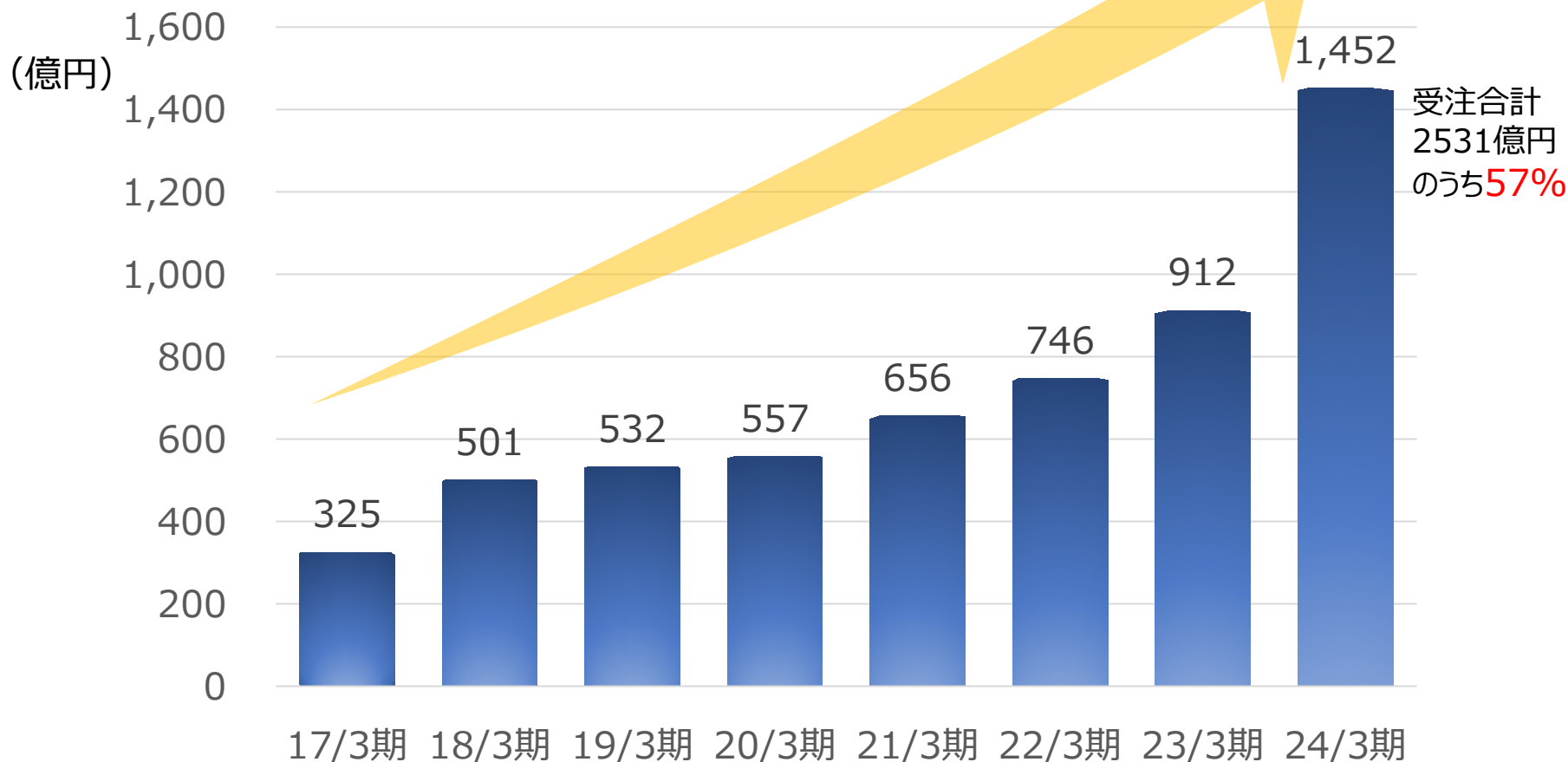
(出所) スタティスタ。売上高ベース。
23年以降は推計値

関西はデータセンターの新設が相次ぐ

24年	NEC	神戸市
	米バンテージ	大阪府茨木市
	エクイニクス・ジャパン	大阪府箕面市
25年	NTT	京都府精華町
	スタックインフラストラクチャー/ESR	京都府相楽郡
	エアトランク・ジャパン	兵庫県尼崎市
	ソフトバンク	奈良県生駒市
26年	オプテージ	大阪市

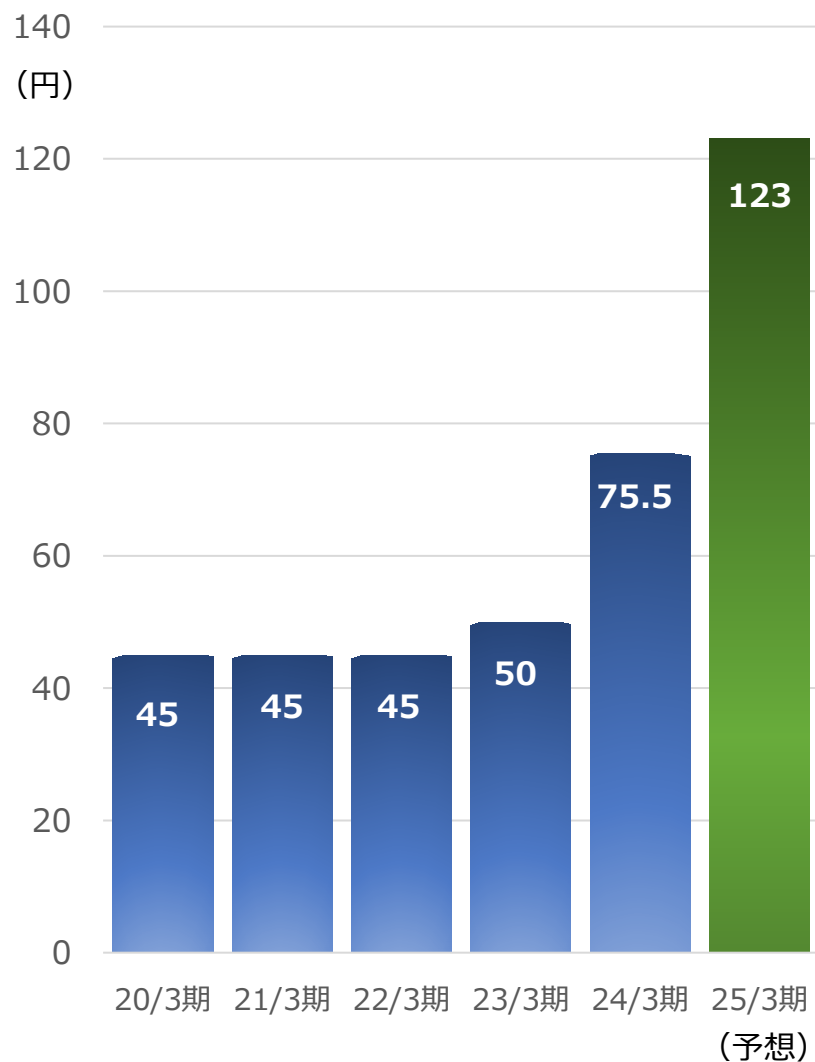
(出所) ストラクチャー・リサーチ

産業施設工事の受注高

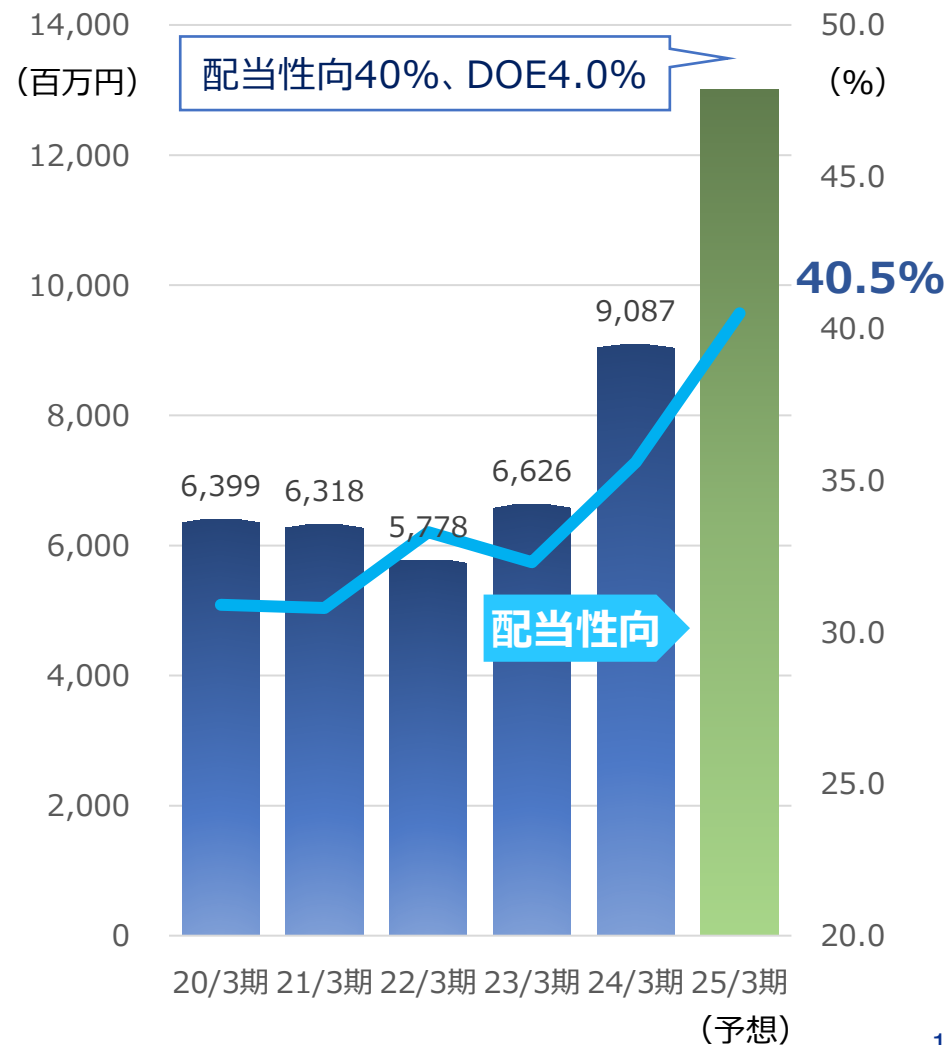


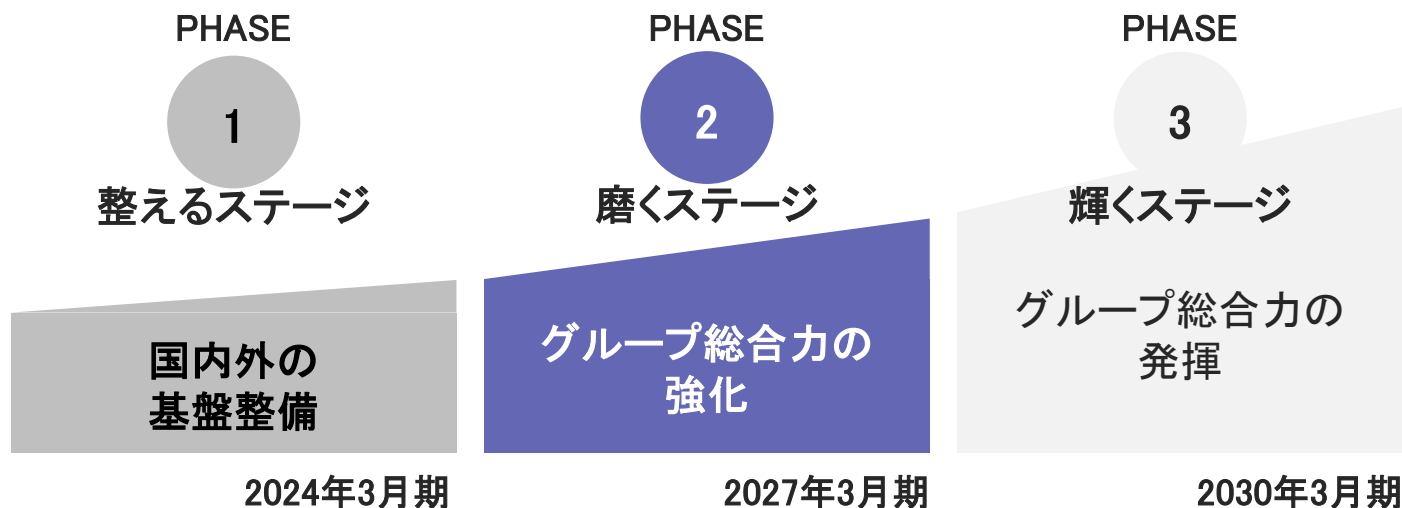
- 工場、研究施設、データセンター、物流施設を産業施設工事としている
- 直近では半導体関連工場、車載用電池工場、データセンターの拡大が顕著
- 大型工事の施工体制のルールを整備し、対応力を高めた

一株当たりの配当計



当期純利益 / 配当性向





企業理念

地球と社会と私たちの未来に、
安全・快適・信頼の空間価値を届ける

長期ビジョン
《Stage2030》

総合設備工事から『空間価値創造』企業へ

信頼される人と組織の
深化

快適・最適な空間の
提供

豊かで持続可能な社会
への貢献

	実績	目標（2024年5月発表）		
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
連結売上高	1974億円	2500億円	2500億円	2600億円
連結営業利益	108億円	150億円 ▼ 175億円*	150億円	160億円
ROE	10.3%	10%以上 ▼ 12.5%*	10%以上	10%以上

*2024年11月8日付「2025年3月期業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」による
次年度以降の目標は今期末時点の経済情勢・経営環境を踏まえて検討

- 現場サイドの負荷軽減を目的として、東日本事業部および西日本事業部に「現場サポート部」を新設しました。



東日本事業部 現場サポート部 淡路町オフィス

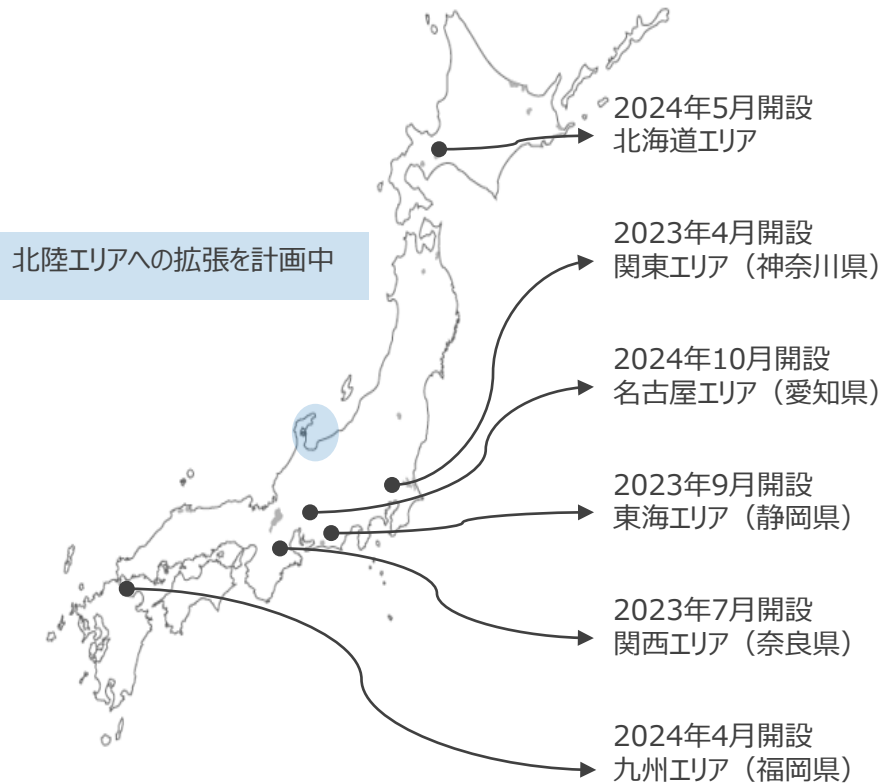


リモート会議での現場作業支援



図面作成支援

- 施工現場での省力化と生産性の向上を図る為、配管加工によるプレハブ化、ユニット化のためのオフサイト施設の拡充と活用の拡大を進めています。



配管フレア加工



全自動バンドソー（配管切断機）

オフサイト施設の様子

オフサイト施設活用によるメリット

- 加工管メーカーの繁忙度に左右されずタイムリーな搬入が可能
- 現場工数の削減及び加工管ストックにより、現場作業の標準化及び工程のズレに柔軟に対応
- 配管加工の端材をストックし、再利用する事で、材料費を削減
- 配管技能士試験 実地試験講習会開催により、協力会社育成に寄与

- 継続的な人材育成と採用強化を通じ
「人づくり」を実現

人を増やす：採用の拡充

人を育てる：研修制度の見直し

ローテーションの制度化



従業員の処遇改善



「人づくり」による
企業価値の向上

従業員
エンゲージメント向上

Phase2の指標および方針

資本効率

- 目標ROE10%以上(前中計比+2pt)
- 政策保有株式の保有比率を連結純資産比20%未満まで早期に縮減
- 自己資本比率50%程度

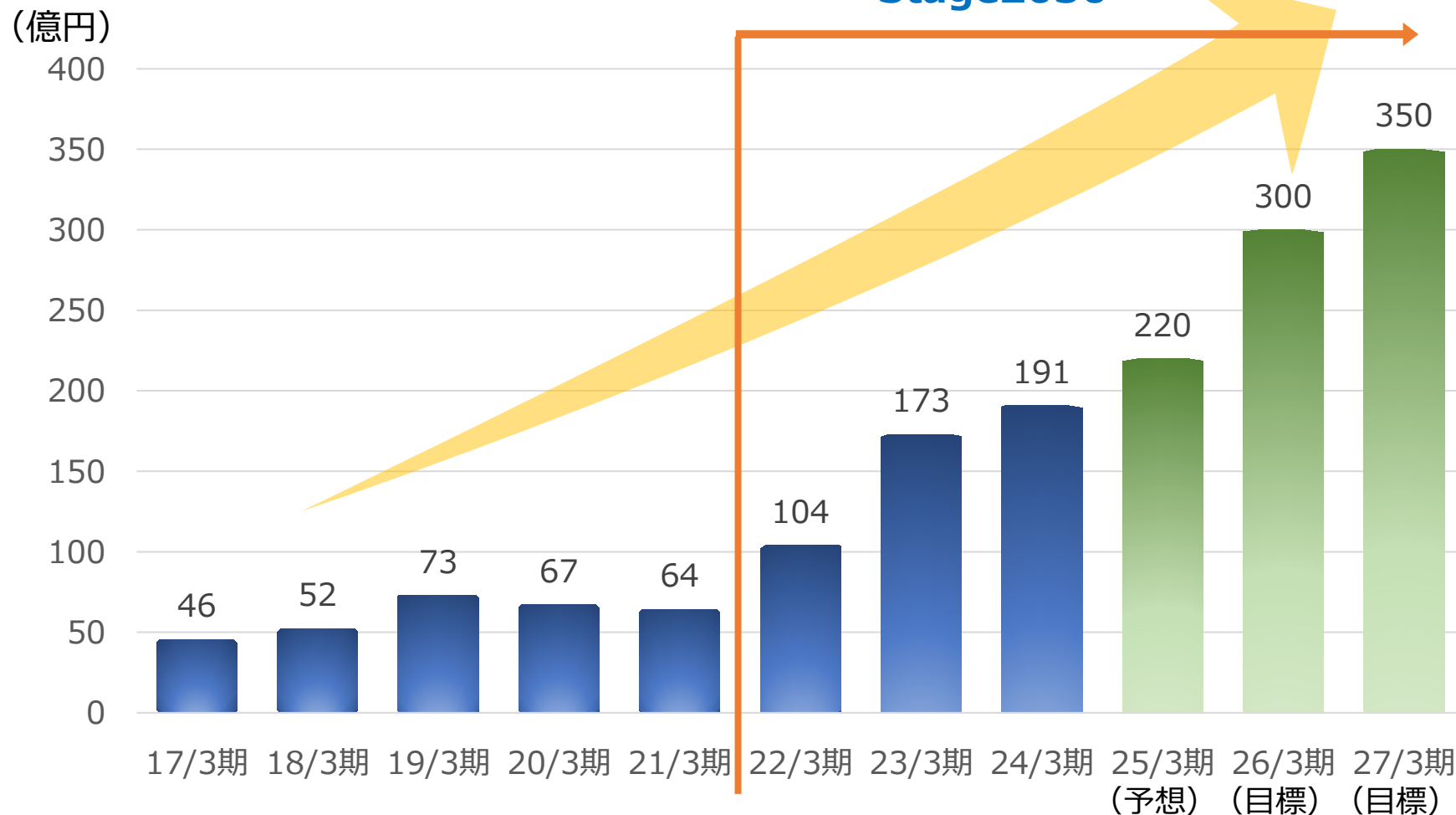
成長投資

- 成長投資額 3年間累計300億円
- 事業活動によるキャッシュ創出に重点を置き、
キャピタルアロケーションを最適化

株主還元

- 配当方針:
配当性向40%以上かつDOE4.0%*を下限とする
(前中計比+5pt) (今中計より新規設定)
*ROE10% × 配当性向40%

海外事業の売上高



- シンガポールを中心にタイ、ベトナム、台湾で事業を展開
- 売上も40億円台⇒190億円に拡大。今後は350億円を目指す
- 今後は国内外の営業の強化と、技術社員の拡充を図る

ダイダンの重要課題（マテリアリティ）

ステークホルダーに提供する価値

ダイダンがステークホルダーに
提供する価値

関連の深いSDGs

持続可能な社会の構築

カーボンニュートラルへの貢献



人にやさしい空間の提供

サステナブルな社会に寄与する新規事業の推進



これからの建物はZEBを目指します

ZEB

net Zero Energy Building

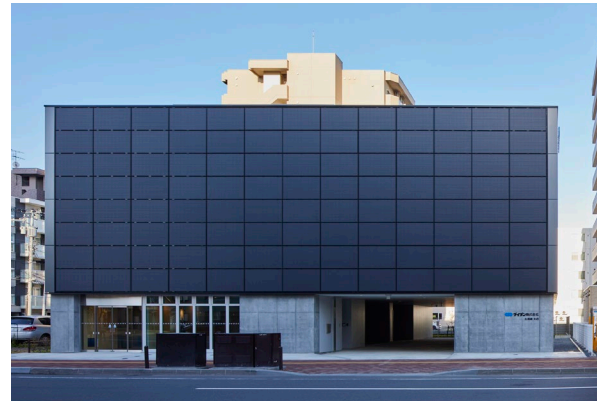
低炭素化社会の実現に貢献するのがZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）です
ダイダンは総合設備力を生かし、いち早くZEBの開発に取り組み、
業界でもトップランナーに認められています



エネフィス九州
2016年 最も早い時期にZEBを達成



エネフィス北海道
壁面もソーラーパネルの寒冷地『ZEB』



北陸支店 [ZEB Ready]
木材活用で脱炭素、快適性を追求



「省エネ（照明・空調） + 創エネ（太陽光発電等）」でエネルギー収支の“ゼロ”を目指す建物

全国の支店をZEBに建替え



社会課題を解決する新規事業

再生医療分野への挑戦



オープンイノベーション

CPFでの検証



オールインワンCPユニット



セラボ殿町での細胞製造

当社独自の低コストで
高品質な細胞加工施設が規制当局に承認

設備業と連携する機
器・システム販売の拡大

厚生労働省より「再生
医療等製品製造許可
を取得

難治性希少疾患向け
がん免疫細胞製品の
治験薬を**受託製造**

工事業に比べ高い利益率

●ハード（機器販売）とソフト（細胞製造）とを両輪とした事業推進



社会課題を解決する新規事業

- 再生医療のバイオベンチャーと提携することで再生医療の実用化に貢献し、SDGsの「すべての人に健康と福祉を」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に寄与する

1. ガイアバイオメディシン (GBM)

- ・ がん免疫製剤を開発。子会社のセラボヘルスケアサービスで受託製造を開始

2. クオリプス (CRP)

- ・ iPS細胞による心筋細胞シートを開発。製造施設へ当社の“エアバリアCPF”を導入

3. ビジョンケアセルセラピー (VCCT)

- ・ 網膜細胞の再生医療ベンチャー。病院内に当社の“オールインワン・ユニット”を導入

ありがとうございました

